



# 看護みやぎ

No. 172  
2026. 2 .1



福浦橋



公益社団法人 宮城県看護協会

会員数：12,502 名（令和 8 年 1 月 14 日現在）





## ブーカ VUCAの丙午

公益社団法人宮城県看護協会 会長 浦山 美輪

新しい年が始まりました。皆様、インフルエンザに負けず、ご健勝にお過ごしですか。

令和8年は丙午（ひのえうま）にあたります。60年前の昭和41年は、前後の年と比較して出生数が40～50万人減少し136万人だったそうです。「丙午の女性は気性が荒い」と言われているそうですが、気性が荒いの上等！です。予測困難なVUCA（ブーカ）の時代にこそ、駿馬のごとく駆け抜ける丙午の力が必要です。令和7年の我が国の出生数は65万人程度であり、60年前の半数以下になってしまいました。干支に限らず出生数が維持できることを願っています。

宮城県看護協会では、継続して取り組んでいる人材確保の一環として、小中学校や高校への看護の出前授業に取り組んでいます。現在の所、高等学校4校、中学校2校でお話をしました。また、県内の各施設でお世話になりましたふれあい看護体験には、中学生16名、高校生409名が参加しました。看護の魅力を発信し、将来一人でも多く看護職を選択してくれることを期待します。

さて、令和7年は皆様にとってどんな一年でしたか？ 約半年間開催された大阪万博、令和の米騒動、秋にはわが国初の女性首相が誕生しました。そして、日本看護協会では初の男性会長、国際看護師協会（ICN）でも初の男性会長が誕生しています。昨年、宮城県看護協会では初の「宮城版看護業務効率化アワード2025」を募集したところ、なんと38題もの応募をいただきました。現場の課題に対し、各施設で様々な工夫が凝らされており、宮城県の看護職の前向きな姿勢と底力を見た思いでした。他施設でも参考にできる事例がいくつもありましたので、県内の看護職で共有していただき、是非、現在取り組んでいる皆様の試行錯誤をまとめ、次年度応募していただきますよう、お願いいたします。

最後になりますが、看護職がより一層やりがいを持って働き続けられるよう、職能団体として看護職への支援と事業を進めてまいります。会員の皆様には、これからも変わらぬご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。





## 宮城県へ要望書提出 ～ 宮城県保健福祉部 志賀部長へ要望 ～

令和7年10月23日（木）令和8年度に向けた宮城県知事あての要望書を、志賀慎治保健福祉部長に提出いたしました。浦山会長から、現場が苦労している現状も踏まえ、要望書の中から、特に看護師確保に関することやプラチナナースの活用に向けての提案、また看護協会だけでは何ともしがたい制度への要望などについて、説明を加えさせていただきました。志賀部長からは、県での取り組みや、準備ができたものから順次取り組んでいく予定であること、特に、プラチナナースの活用については、看護協会ならではのアイデアとして評価いただき、今後も現場からの提案を期待しているとお話がありました。また、新総理が発言された「医療、看護、介護の処遇改善」についてもその内容を注視し、県として対応していきたいとお話いただきました。

その後、医療人材対策室のほか、要望事項に関係する4課室の方々も交え、要望に対する回答を一つひとつ丁寧にご説明いただき、欠席された担当課からの回答も、書面を読み上げる形で寺島医療人材対策室長からご回答がありました。

看護師確保やそれに関連する諸問題については、今後も「宮城県看護師確保検討会」（座長：浦山会長）を軸に据え、今年度、検討会の下に設置された部会の中でより具体の対策等が議論されていることを踏まえ、実効性のある事業を県・看護協会ともに連携をとりながら進めていくことを、改めて確認しました。



### 令和8年度に向けた看護に関連する要望書

#### 1. 未来と暮らしを守るための看護職確保への支援

- 1) 看護職の地域偏在是正への支援
  - ① 宮城県看護職員採用支援事業の継続と拡大
  - ② インターンシップ助成事業を自治体病院にも拡大
  - ③ 復職者への就業・定着奨励金の創設
- 2) 看護補助者雇用への支援
- 3) 看護師等免許保持者の届出制度（とどけるん）の積極的活用
- 4) ハラスメント相談状況の実態把握について

#### 2. 安心して産み育てられる環境整備への支援

- 1) 産後ケア事業の浸透と継続
  - ① 実施事業所への補助金増額
  - ② 産後ケア事業の更なる周知について
- 2) 入院中の妊産褥婦の安全・安楽の確保
- 3) 医療的ケア児への支援
  - ① 利用できるサービスの拡大と災害時への備えの推進
  - ② 医療的ケア児支援の隙間を埋める看護職の確保
- 4) 院内助産におけるアドバンス助産師配置の推進
- 5) 助産師実践能力向上への支援

#### 3. 健康危機管理体制の維持に向けた支援

- 1) 市町村における健康危機管理体制の推進への支援
- 2) 感染症認定看護師の施設等における活用促進

#### ○ 引き続き支援をお願いするもの

- 1) 看護職員の資質向上への支援
  - ① 新人看護職研修
  - ② 看護管理者研修
  - ③ 退院支援看護職研修
  - ④ かかりつけ医看護職研修
  - ⑤ 施設看護職研修
  - ⑥ 訪問看護職研修
- 2) 看護の専門性発揮への支援
  - ① 出前講座

## 理事会 だより

### 令和7年度 第4回理事会

日時：令和7年9月27日（土）9時58分～12時36分  
場所：宮城県看護協会会館・看護研修センター

#### 1. 決議事項

- (1) 職員給与規程の改正について

#### 2. 審議事項

- (1) 宮城県知事への要望書について

#### 3. 報告事項

- (1) 重点事項の進捗状況（令和7年7月～8月）について
- (2) 事業報告（令和7年7月～8月）について
- (3) 日本看護協会理事会報告について
- (4) 職能理事報告について
- (5) 支部理事報告について
- (6) 看護協会正会員の入会状況について

### 令和7年度 第5回理事会

日時：令和7年12月6日（土）9時58分～12時45分  
場所：宮城県看護協会会館・看護研修センター

#### 1. 審議事項

- (1) 令和8年度職能委員会の任務及び常任・特別委員会に対する会長の諮問事項について

#### 2. 報告事項

- (1) 宮城県知事要望の状況について
- (2) 令和7年度重点事項の進捗状況（令和7年9月～10月）について
- (3) 事業報告（令和7年9月～10月）について
- (4) 日本看護協会理事会報告について
- (5) 職能理事報告について
- (6) 支部理事報告について
- (7) 看護協会正会員の入会状況について



# 宮城看護学会

学会テーマ

## 働く職場のあらたな共育

～心のゆとりを持った自分であるために～

2025年11月22日（土）フォレスト仙台で宮城看護学会第19回学術集会が開催されました。「働く職場のあらたな共育」と題して、318名の参加がありました。第1会場では一般演題の口演発表、第2会場では、数年振りにポスターセッションでの発表が行われました。また、昼食を食べながら参加できる「心を豊かにする旅のすすめ」のお話があり、午後は第1会場で特別講演、シンポジウムが行われました。今回初めての取り組みとして、企業展示や福祉事業所の販売なども催され、にぎやかな学術集会となりました。



▲口演

### 一般演題

一般演題は第1会場で口演6題、第2会場で示説10題の発表が行われました。退院支援、透析中の災害対策など多岐にわたる内容で、発表者とフロアとの意見交換が活発に行われていました。



▲示説

### 特別講演

特別講演は、全国療育相談センター センター長 金生由紀子氏から、「脳機能の多様なあり方を尊重し合って活動すること」をテーマにご講演いただきました。発達特性は必ずしも弱みではなく強みとして捉えられることもあり、多様なあり方を認めて尊重し合うことの大切さを学ぶことができました。

### シンポジウム

シンポジウムでは「職場の気になる人とのかかわりを考える」と題し、岐阜大学保健管理センター准教授 堀田亮氏より『「気になる人」は誰？：社会モデルから考える』、JCHO船橋中央病院副院長・看護部長の開保津貴子氏より『発達障害または発達障害の特性を持つ看護師の共育・就業継続支援』についてお話を頂きました。堀田氏は、教育機関における障害のある学生の実態を報告し、精神障害や発達障害のある医療系学生との関わり、医療現場での「気になる人との関わりは、教育者側が多様性を理解し受容できる環境を醸成できているか振り返ることが肝要である。」と訴えました。開保津氏からは、コミュニケーションや多重課題を困難とする看護師に対する現場での具体的な支援、関わり方について報告がありました。当該看護師・支える側の看護師・管理職、それぞれのwin-winを目指す姿勢を大切にしていました。会場からは支援の実際や悩みなどの質問、意見が活発に行われました。



▲シンポジウム



# 第19回学術集会

## ■ 福祉事業所の即売会・企業展示

3ヶ所の福祉事業所に参加していただきました。シフォンケーキ、たこ焼き、焼きそば、クッキーなどの販売が行われました。

企業展示は7つの企業により様々な展示が行われました。AIによるサマリ作成、輸液管理のサポートシステムなど興味深い展示でした。

どちらのコーナーも、多くの人で賑わい大盛況でした。



◀ 福祉事業所の販売



企業展示 ▶



## 学会を終えて

学会委員長 富澤 弥生

本学術集会は、宮城県の看護職の皆様がやりがいを感じながら「心のゆとり」をもって働き続けていくことにつながるよう、昨年から「心のゆとり」をキーワードとしており、今年は「働く職場のあらたな共育一心のゆとりを持った自分であるために」をメインテーマといたしました。計318名と多くの皆様にご参集いただき、本当に嬉しく思います。

特別講演は金生由紀子氏に「脳機能の多様なあり方を尊重し合って活動すること」というテーマでご講演いただきました。参加者がシーンと一斉に講演者の方を見て聞き逃すまいとしており、正しく理解することがいかに重要かを痛感する内容でした。

シンポジウムは「職場の気になる人とかかわりを考える」というテーマで、堀田亮氏は学生支援の立場から社会モデルの視点の必要性について、開保津貴子氏は看護管理者の立場から「共育理念」の浸透の効果、支援する側のケアの重要性、障害者雇用への転換相談、等ご講演いただきました。参加者が悩みを質問し、先生方からのコメントで過去を肯定的に捉えなおす心があたたまるような場面もありました。アンケートでは、「アットホームな感じで雰囲気よかった」「これまでの発達障害に関する研修を受けたが一番知りたいことが知れた」など多くの感想が寄せられました。ご講演の先生方には、本学会の意図を汲み取り、お忙しい中、テーマにピッタリな内容に仕上げていただき、あらためて感謝申し上げます。参加者の心のゆとりにつながることを願っております。

一般演題は16題ご発表いただきました。ご多忙の中、看護研究を発表までまとめられた発表者の方々、本当にお疲れ様でした。また、座長の皆様、誠に有難うございました。

そして、今年はポスター発表、企業展示、リフレッシュタイムがあり、賑やかな印象になったかと思います。学会委員一同、丁寧でわかりやすい査読、ためになる企画を心がけております。次年度も皆様からの演題応募、ご参加をお待ちしております。

2025  
年度

## 認定看護管理者教育課程

# サードレベル研修を終えて

### 1

#### 研修概要

令和7年9月2日から11月7日までの33日間、2025年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修が開催されました。宮城県・山形県・福島県から23名が参加し、180時間の研修を経て終了式を迎えることができました。開講式では宮城県看護協会の浦山会長はじめ理事の皆様、専任教員の方々から励ましのお言葉をいただきました。「広い視野で保健医療福祉のニーズをとらえ、環境の変化に柔軟に対応した看護サービスを提供できる管理能力をそなえ、組織および地域の目標を、看護管理者のネットワークを活用しながら達成できる人材を育成する」というサードレベルの教育理念に基づき、求められているトップマネージャーに少しでも近づきたい気持ちを抱いた一方で、責任の重圧から胸がいっぱいになったことを今でも鮮明に記憶しています。研修では著名な講師の先生方のバイタリティあふれる講義に吸い込まれ、いつの間にか探求心や向上心を高める努力をしている自分達がありました。最新のエビデンスや今後の動向に関する知識は勿論ですが、前向きな考え方、器の大きさ、ユーモアのセンス等々、講師の先生方の豊かな人間性に魅了されました。



トップマネージャーは優れた知識やスキルの他、共に働く仲間や部下と一緒に頑張りたいと思える存在になることが重要だと改めて理解しました。研修後半は、事業計画や政策提言の演習を中心に、自施設での取り組みや新たな政策案について、現在と未来、地域と日本、そして世界情勢を鑑み、「考える」過程で苦しみました。

サードレベル研修での体系的な学習を終え、トップマネージャーとして必要な知識、態度を学んだ今、研修修了者として質の高い看護管理実践をする使命があります。多様なヘルスニーズをもつ地域住民が、住み慣れた場所で暮らし続けられるよう、質の高い保健医療福祉サービスを提供する一員として尽力してまいります。

### 2

#### 学んだこと・トップマネージャーとして実践したいこと

**1G** トップマネージャーは、地域における自施設を俯瞰して、組織を改革する。「考えすぎるな！実行せよ！」

**2G** 社会・制度・政策を見据え、あるべき姿を浸透させ、戦略的に組織改革を牽引する人間力あるトップマネージャーになる！

**3G** 体系的な学びから、俯瞰して物事を捉えるだけでなく、組織のビジョンを示し伝えるためのコミュニケーションに取り組む

**4G** 看護管理者として、悩むのではなく「考える」ことが必要であり、考えるためにはデータ分析が必要で、先に進むためには、理念・ビジョンを自分の言葉で伝えられることが重要である。



統合演習支援者の先生方と



## 3

## 研修を終えて

看護管理を学ぶ研修生同士の絆ができたことが一番の財産です。グループワークでは広く知見が得られ、もっと語り合いたいと思える貴重な時間を過ごしました。休憩中は雑談に花が咲き、何事も頑張る力になりました。今後、地域全体で取り組む課題の解決に向けては、助け合う仲間が地域にいる安心感に感謝の気持ちでいっぱいです。このネットワークを大切にして、一つずつ地域の様々な課題に取り組んでいきたいと思います。

国立病院機構仙台医療センター 平山 晴美

研修会における講義や演習、実習を通し、多方面に渡り看護管理について学ぶことができました。そして、他施設の受講者との情報交換や発表会では、グループダイナミクスを発揮した相互作用により、自身で気付くことができなかったことに気付かされ、視野が広がったように思います。今後は、学んだことを活かし、地域や自施設のあるべき姿を見据えて少しでも貢献できるよう努力していきたいと思っています。

宮城県立こども病院 森谷 恵子



▲ 統合演習 石原先生・石川先生と



▲ 宮城県看護協会浦山会長と閉講式にて

## 4

## 編集後記

研修会では、医療を取り巻く環境が大きく変化する中、組織運営や人材育成等における看護管理者の役割について、改めて考える機会となりました。今回得られた学びが、地域における看護の質の向上と働きやすい職場づくりにつながるよう努めて参ります。そして、この研修会で苦楽を共にした23名の受講生との繋がりを大切にし、助け合いながら、看護管理者として成長していきたいと思っています。

最後になりましたが、講義をご担当くださいました講師陣の皆様、統合演習でご指導いただきました支援者の先生、宮城県看護協会会長をはじめ看護協会職員の皆様、研修を受講するにあたりご支援くださいました所属施設の皆様に心より感謝申し上げます。

宮城版

## 看護業務効率化アワード2025 選考結果

最優秀賞

大泉記念病院

多様な働き方で支える看護現場  
ワークライフバランスと業務効率化の両立

優秀賞

包括ケアステーション ベルカナ

薬剤管理の見直しとその取り組み調剤薬局との連携による一考察

優秀賞

宮城県立こども病院

アクティブラーニングを取り入れた  
「ジェネラリスト留学」によるキャリア支援

宮城県看護協会会長賞 大崎市民病院鳴子温泉分院  
データを活用した看護の質改善の取り組み～DiNQL活用～

DX賞

東北大学病院

放射線部におけるICT活用

これから取り組むべき課題で賞 仙台市立病院

高齢救急患者に対する救急科病棟チームの取り組み～専属看護師の活動報告～

宮城県看護協会会長特別賞

仙台赤十字病院 / 仙台厚生病院

# 身体拘束最小化の看護ケア

## — 高度急性期病院の外来看護の視点で考える —

東北大学病院 外来 I 老人看護専門看護師 竹 田 春 美

### 1. 高度急性期病院の外来の特徴と 外来看護師の役割

全国の外来患者数は2025年にピークとなり、その後減少が予測されています。高齢化により、慢性疾患や認知症を持つ患者が増加する見込みです。<sup>1)</sup> 外来・在宅医療への移行と継続的な看護体制の整備が必要であり、医療機関の役割分担も重要になります。

高度急性期病院は、急性期患者に対し診療密度の高い医療を行う役割があり、急性期後の在宅復帰支援やリハビリテーションを提供する機能があります。外来には、最先端治療や多様な医療資源を必要とする外来患者が来院されることとなり、医療者には、専門知識を活かし外来患者の安全や快適さ、多様なニーズに対応できる力が求められています。

日本看護協会の調査<sup>2)</sup>によれば、多数の医療機関が療養支援に注力している現状が示されています。特に外来看護における意思決定支援の重要性は高まっており、高齢化ならびに単身世帯の増加に伴い、通院困難例や治療中断リスクが顕著となっています。外来看護職による継続的なフォローおよび相談業務は不可欠です。そこで外来における看護師の役割として、以下の2つが求められます。

- ① 地域社会で個々の患者が自分らしい生活を維持できる支援
- ② 患者のセルフケア能力維持・向上を目的とした在宅療養支援

### 2. 外来看護で考える 身体拘束最小化

外来部門は、患者が医療施設を受診する際に最初に訪れる場所です。特に急性期病院を受診する認知症の人にとって、病院受診はリロケーションダメージの誘発要因となり得ます。認知症の人に対して関心を持ち、その行動特性や人格的傾向を把握することが、不要な入院の回避および入院時における身体拘束の最小化・防止に寄与すると考えます。2024年より施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では認知症の人と家族が地域で安心して暮らせるということが記されており、認知症の人の尊厳および価値を守ること、その人らしい生活の継続を支援するために、外来看護師が果たす役割は非常に重要と考えます。

### 3. 外来での受診状況を病棟と情報共有し 術後の身体拘束を予防できた事例

施設入所中のAさん（70代、認知症日常生活自立度はⅢ a 相当）は、気道内異物の疑いで受診されました。初診時は施設職員と兄弟が付き添っていましたがAさんは立ったり、座ったりと落ち着きのない行動がありました。この行動は知らない人の出入りやTVの音などいつもと違う環境が要因と考え、静かな環境の別室で待機してもらいました。術前検査の採血や検査に必要な末梢ライン確保時に、兄弟・施設職員に同席してもらい、Aさんには平易な言葉で説明すると、うなずくという意思表示ができ、静かに処置を受けることができました。しかし、処置カートが気に入り、引き出しに触れたり、物品トレイに触れたりする動作がみられました。施設職員へ伺うと「とても几帳面なんです。引き出しが少しでも開いていると一回開けて閉めるし、物はまっすぐには置かないと気が済まないし、気になって触るんだと思います」とのこと。また、兄弟は「普段一緒にいないので施設の方にお任せしています」と話されました。気道内異物除去術は、全身麻酔下で実施となり、Aさんの負担を考えて1泊入院となりました。病棟への申し送りとして①外来受診時の様子②Aさんが物に触れるのは、几帳面な性格の為に起こす行動の特性があること③平易な言葉であれば、頷きなどの意思表示できる、ということを電話連絡と電子カルテへ記載し情報共有しました。また、急性混乱を防ぐため、顔見知りの方の付き添いとして兄弟・施設職員が同室することとなりました。入院後も病棟では環境調整と平易な言葉での説明など愛護的なケアを行い、手術は問題なく終了し、必要最小限の輸液管理とベット上安静のみとし身体拘束は行わず、予定通りの1泊入院で退院となりました。

身体拘束最小化のケアは、病棟だけでなく外来でも重要です。今回の事例では、受診時のアセスメント情報を共有することで、Aさんへの理解が深まり、身体拘束の予防につながりました。

参考：1) 2040年を見据えた看護提供体制のあり方について

2040年を見据えた看護提供体制のあり方について P17

2) 日本看護協会（2022年3月）、2021年病院看護・外来看護実態調査報告書、  
<https://www.nurse.or.jp/nursing/home/publication/pdf/research/97.pdf>.



# プラチナナース研修会

～プラチナナースへの役割期待！  
新たなやりがいと活躍しよう～



**日時** 令和7年12月5日（金）13：30～16：00

**場所** 宮城県看護協会訪問看護総合センター

**内容** ① プラチナ世代のワークライフを考える

～プラチナナース世代が『知って得するお金』の話～

**講師** 社会保険労務士伊東事務所 特定社会保険労務士・医療労務コンサルタント  
伊東 達也氏

② プラチナナースの活躍の実際

**講師** 定年後からの訪問看護師の道 齋藤 美紀氏（訪問看護ステーションナースケア岩沼）  
定年後は新たな部署医事課で活躍 関野 七枝氏（宮城県立がんセンター）  
早期退職で在宅療養支援を歩む 伊藤 友美氏（あおいくま訪問看護リハビリテーション仙台）

**参加者** 36人（参加者30人＋委員6人）



▲ 伊東達也先生

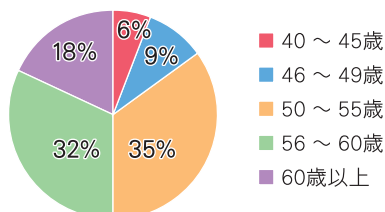


▲ プラチナ世代で活躍されている講師のみなさま

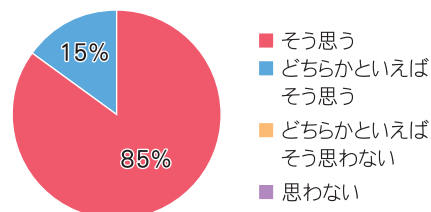
## アンケート結果

参加者：36人  
回収数：34人  
回収率：94.4%

### 参加者年代



### キャリア後期の考え方・働き方について考える機会になりましたか



伊東先生の“迷ったら行動してみる”が刺さりました。ありがとうございました！

セカンドキャリアを考えるうえで、大変参考になりました。制度やお金の話は意識していなかったので、まずは職場の規則を確認してみようと思います。

3人の働き方を聞いて、これからの人生に対して、今後の自分の働き方について考える良い機会でした。

技術と経験、人間関係力を持ち合わせるプラチナ世代は、これからの社会でますます活躍を期待されています！

今回、研修に参加された約9割が50代～60代の方、また、少し先の未来を考える40代のみなさんと1人ひとりがこれからの自分の活躍する姿を描ける研修会になりました。

## 会員のページ



### 東北大学病院 合澤 美幸

我が家の愛猫、12歳のキジトラ・すみれさん、2歳の茶トラ・ちゃちゃ、どちらも女の子です。すみれさんはおばあちゃんなのでのっそりさんですがとても芸達者で、行ってらっしゃいのお見送りとお帰りのお出迎え、「ご飯のお替りをください」と冷蔵庫まで私を誘導します。ちゃちゃは小ぶりに見えますが5キロ越えのムチムチボディ、とてもおてんばでおもちゃを持ってきて遊びをせがみます。ふたりとも我が家のアイドルで家族みんなを毎日癒してくれています。



令和7年度

# 職能理事 あいさつ

## 保健師職能のネットワーク強化で、 宮城の保健師活動の充実を

近年は地震や台風、感染症の流行に加え、2040 年を見据えた少子高齢化への対応が求められ、地域の健康を支える保健師の役割は一層重要になっています。そのため、保健師が孤立せず支え合う職能ネットワークの強化が欠かせません。

保健師職能委員会では、現場の声を踏まえて課題解決に取り組み、地域包括ケアの推進や会員拡大、他職能との連携を柱に活動しております。今年度は「2040 年を見据えた保健活動」をテーマとした職能集会や新任保健師向け研修・交流会、行動変容に関する研修会を企画しました。これらは非会員の方にも開かれ、多様な立場の方々との交流と学びを通じて活動の広がりを期待しています。

宮城県で暮らす人々の健やかな暮らしを支えるため、保健師職能のネットワークをさらに強化し、地域の保健師活動を充実させてまいりたいと考えております。



保健師職能理事  
八巻 直恵

## 助産師の専門性発揮のために

少子化が進む中で、周産期医療は大きな転機を迎えています。昨年は厚生労働省が、全国の出産施設のサービス内容や費用の目安を検索できる『出産ナビ』のウェブサイトを立ち上げました。更に現在、出産費用の無償化に向けての議論も進められています。

このような中で、助産師の役割は周産期医療の提供だけでなく、生涯を通じた女性の健康支援や地域での育児・健康相談へと拡大しています。当委員会でも、助産師の専門性を高めることを目的に、更年期、乳児の発達、プレコンセプションケアの研修を開催しています。今後も周産期医療の動向を注視しながら、助産師に求められている役割を発揮できるように情報提供、研修開催などの委員会活動をしていきたいと思っています。また、理事として現場の声を集約し、次年度の活動計画に活かすことも重要と考えています。皆さんと一緒に考えていきたいと思っていますので、ご協力お願いします。



助産師職能理事  
梅原あゆみ



## 看護職が長く働き続けられる環境づくりを目指して

2040 年に向けて、地域の医療・看護提供体制を維持するために看護職員の確保が病院領域における大きな課題となっています。その中で現在就業中の病院看護職の安全と安心を守り、長く働き続けられる環境を整備することが重要であり、他職種とのタスク・シフトや看護チームにおける連携・協働を推進していくことで、看護が専門性をより一層発揮できるようにすることが必要です。看護師職能Ⅰ委員会では現場での問題を吸い上げ、離職防止・職員定着、自己を振り返り今後の看護実践の糸口を見出すことを目的とした様々な研修を行ってきました。今年度も看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同集会では「いくつになっても生き生きと働き続けるために」というテーマで研修を開催し、102 名の看護職が参加してくださいました。今後も多くの方が研修に参加し、職能委員会の活動を知り、現場での問題をどんどん届けてくださることをお願いいたします。



看護師職能Ⅰ 理事  
森 竜子

## 看護師職能Ⅱの活動の充実をめざして

今年で、3 期目 5 年目になりました。活動の大きな柱は、看護師職能Ⅱ領域の人材育成と会員確保、さらに看護師職能Ⅰと協働した研修と職能集会、そして、昨年から再開した支部集会などの活動を行っています。研修では、魅力ある職場づくりの要である管理者の育成に重点をおき、3 年間の研修を行い、組織・チームマネジメント、専門職連携の知識など千葉大学の専門職連携研修センターの先生方を講師に招き最新の知識を得ました。また、この領域で働いている診療看護師の臨床推論の研修も多くの参加者で実施しました。来年は支部のほうで開催する予定としています。

会員拡大では、この領域の宮城県の会員は 5 % に達していません。研修や集会時にその必要性を説明し、この領域の意見や現状などの声を届けて人材確保や処遇などの改善に向けていきたいと思っています。来年 2 月に看護師職能Ⅱの集会を予定しています。管理者もリーダーも、そして、これから高齢者ケア施設で働いてみたいという方の参加をお待ちしています。3 期目に看護師職能Ⅱの活動を充実させていきたいと思っています。



看護師職能Ⅱ 理事  
鈴木 郁子

## 職能理事としての抱負

今年度より准看護師職能理事を務めさせて頂いています。看護協会には今まで研修で行っていましたが、今回のように看護協会に関わる事は、初めての事で緊張しています。また、わからないことばかりで、皆様から助言を頂きながら任務を行なっています。理事会や職能委員会に参加すると、情報交換ができたり、勉強になったりしています。自分の任期の間一生懸命頑張ります。よろしくお願い致します。

令和 7 年度の准看護師集会は、12 月 9 日に准看護師と看護管理者の集会として、看護師と准看護師の業務区分、役割分担に向けた情報交換会を開催しました。ガイドライン及び活用ガイドや養成機関からの情報提供など 2 つの話題を聞いた後に、准看護師と看護管理者に分かれグループワークを行いました。いろいろな意見が出され、全体で共有でき大変有意義な集会になりました。



准看護師職能理事  
大友 雅之

# 支 部 だ よ り



## 岩沼支部

### 岩沼支部活動状況



岩沼支部は名取市・岩沼市・亘理町・山元町の2市2町となっております。

今年度は役員が大幅に交代し、新役員をたくさん迎え、役員1人ひとりの意見を尊重しながら、地域の企業や医療機関の皆様のご協力を頂き、役員会・活動をしています。

9月27日、「みちのく潮風トレイルを知りトレイルを体験しよう」のテーマで、一般公演を開催しました。はじめに講師より、みちのくトレイルの概要やトレイル憲章について講義があり、その後4kmコースのトレイルを体験しました。メモリアル公園や震災復興伝承館を見学し、

かわちまちテラスを散策しました。川沿いから海を眺める景観やかわちまちテラス散策は心身のリフレッシュに繋がり、参加者から「楽しく歩くことができました」「久しぶりに気持ち良い時間がとれて、リフレッシュできました」等の声が聞かれました。

11月15日には、ゆりあげ食彩館で「まちの保健室」を開催しました。来場者は50名で、赤ちゃん人形抱っこ体験には22名の方が参加して頂き、実際の赤ちゃんと同じ重さを感じ、大人も子供も照れながら嬉しそうに楽しんでいました。また、初めての試みとしてバールーンアートを企画しました。

子供たちが興味を持って参加してくれましたので、ご家族と一緒に看護師の職業をPRすることができました。

今後も、看護の魅力を地域の皆様に伝えるような活動を企画していきたいと思います。



## 大崎支部

### 多職種の連携を図り、地域での活動に取り組めます。

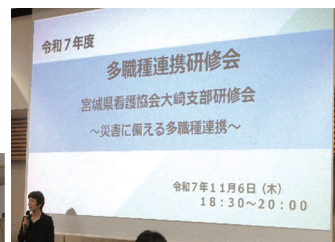
大崎支部の活動方針は、

1. 看護管理者ネットワーク集会を継続し、施設間の交流を深め相談できる環境にする。
2. 地域の課題を把握し行政との連携を図り、地域包括ケアシステムの推進を目指す。
3. 地域活動に参加し地域住民の健康増進や若者への看護の魅力を発信していく。としています。

今年度の支部活動として、6月には生き生き田園フェスティバルでの「看護のひろば」ではグッズの配布、10月には大崎市健康と福祉のつどいでの「看護協会まちの保健室」で、骨密度や血圧測定を行い、地域住民に対する健康増進の啓発と看護協会の活動のPRを行いました。

また近年、大規模災害の発生が増えていることから、災害に対する知識の向上や多職種との

連携の強化を図るために2回の研修会を実施しました。1回目は「災害支援への備えと役割」と題した講話、2回目は「災害に備える多職種連携」と題したグループワークを実施しました。研修をとおり、災害時に起こり得る環境や健康に関する課題、さらにその解決のために果たすべき看護職の役割について、再認識する機会となりました。看護職同士が繋がり連携することで、地域の健康維持・増進を進めることや、災害時には迅速で適切な看護を提供できるように一層連携を深めて活動していきたいと思います。





## 登米支部

### 地域に寄り添い、 笑顔あふれる支部活動！

登米支部では「明るく、楽しく、良好なチームワークで1年間活動します」を合言葉に支部役員が一丸となり地域での活動を展開しています。

9月12日（金）には老人専門看護師（石巻赤十字病院）の阿部久美氏をお招き、「身体拘束最小化への取り組み」をテーマとした支部研修会を開催しました。2024年の診療報酬改定に伴った「旬」のテーマでもあり、市内の病院や介護老人保健施設、訪問看護ステーションなど様々な施設から62名が参加し、関心の高さが伺えました。医療、介護にかかわる人が「拘束をしない」視点に立ち、代替の方法を用いながら「身体拘束最小化」に取り組むことによって基本的人権や尊厳を守ること



に繋がると再認識した研修でした。「認知症マフ」の紹介や気さくな人柄に引き込まれ、講演終了後も講師先生を取り囲む受講者が多く、今後の「身体拘束最小化」に向けた精力的な活動

が期待できるのではないかと感じました。

また、9月28日（日）は、「看護のひろば」の活動として「第14回登米市こどもまつり」に参加しました。白衣の試着体験や記念撮影、ミニプレゼントなどを企画し、沢山の来場者で埋め尽くされた支部コーナーは笑顔と活気にあふれました。この活動を通して親御さん、お子さんには看護の魅力を存分に発信出来たのではないかと支部役員は自負しています。好みの白衣を選んでポーズを決める子や聴診器で熱心に心臓の音に耳を傾ける子らの微笑ましい場面があちこちでみられ、参加した支部役員も楽しい1日を過ごすことができました。

登米支部役員は少ない人数ではありますが、支部会員や地域の皆様のお役に立てる活動を目指し、今後も取り組んでいきたいと思っています。



## 気仙沼支部

### 地域にひろがる、 看護のタスキをつなげる活動

気仙沼支部では、昨年からの対面での企画が復活となりました。そのため、ますますイベントへのモチベーションがアップし、各担当者が皆で楽しめる企画を立ち上げて活動しています。5月に行われた今年度最初のイベント「看護のひろば」では、自分の将来を重ねたユニフォームを着用したり、進路相談では看護学生から実習の様子や学校生活との両立の仕方を相談したりと、親子で真剣



に話を聞いていました。また、各職能ブースで行われた高齢者体験・赤ちゃん抱っこ・健康推進コーナーで笑い声が絶えず聞こえていました。来場者も昨年から増え職場紹介も2クール行う盛況で終えることが出来ました。

また、9月に行われた支部研修会と地域ネットワーク交流会では、当院助産師からの「更年期を心地よく過ごすには」



を題材にヘルスケアセミナーを行いました。更年期になるメカニズムやそれに対処する過ごし方や薬剤など、自分たちで対応できる方法等を幅広く教えて下さいました。グループディスカッションでは、30代から40代のこれから更年期を迎える参加者にとっては、今後の対策や周りの環境への対応等更年期を終えられた先輩方の心強いアドバイスを貰い、安心して更年期を迎えられると話していました。男性の参加者からは、女性が多い職場では男性の自分はどのように対応していったらよいか、との相談には、周りに頼れる環境づくりが必要とアドバイスを貰っていました。「大豆は大事（だいず）」の合言葉に最後まで和気あいあいと楽しく行えました。

近年看護職を目指す若者が少なくなってきました。気仙沼市健康づくりフェスタ・ふれあい看護体験や子育てフェスタ等をとおして、若年層からの参加がもっと増えるように活動の発信を広げ躍進していきたいと思っています。

## 仙台北支部

### 地域のみなさま、 会員のみなさまとともに

仙台北支部では、地域のみなさまへの看護の魅力発信や地域住民の健康増進につながる活動、会員のみなさまと親睦を深め連携促進を図る研修会の企画など、地域のみなさま、会員のみなさまのお役に立てるよう活動を行っています。4月には教育研修として「忙しい日常臨床で実践できる！！ 遺族ケアのtips×エビデンス」というテーマで山形県立保健医療大学の青山真帆先生よりご講義いただき、看護師の日々の丁寧なケアが遺族の心の支えになること、看護師自身がグリーフと向き合うことの大切さを学びました。5月には4支部合同の「看護のひろば」がアエル2Fで開催され、仙台北支部は健康相談、血圧測定、血管年齢測定、肌年齢測定、体脂肪測定を担当しました。親子連れやご夫婦、友達同士など多くの方が足を止めてくださり、測定結果を見ながら日常生活について相談を受け大盛況でした。11月にもイズミティ 21で開催

される「元気アップフェスティバル」でまちの保健室を開催する予定です。看護の役割や魅力を多くの方にPRしていければと考えています。9月は交流会として「窒息時の対応とBLSトレーニング」を開催しました。スキルスラボの須藤先生を講師に人型シミュレーターを使用した汗をかきながらの演習で、他施設スタッフとの意見交流と看護手技の確認ができる良い機会となりこちらも大変好評でした。

今後も、地域のみなさま、会員のみなさまと交流を深め、お役に立つ情報発信ができるよう様々な取り組みを企画して参ります。みなさまのご参加をお待ちしています。



## 仙台東支部

### 地域の施設、看護管理者との 意見交換



仙台東支部では2025年9月26日に看護管理者ネットワーク会議を開催しました。

宮城県看護協会会長浦山美輪様より「看護を取り巻く現状と看護の将来ビジョン2040」をテーマに講義を頂きました。

2040年少子高齢化はピークを迎えます。講義を受けて「自身の施設や部署の問題・課題」を改めて考える機会となりました。今後取り組むべきことなどグループワークで話し合う機会となりたくさんの意見が飛び交っていました。

#### ～講演後のアンケートより～

「自身の施設や部署の問題や課題は何か」

- ・ICT整備
- ・働く人材の確保
- ・働き続けられる環境づくり
- ・業務に追われモチベーションが保てない

「看護管理者として

自身が今から取り組んでいきたいこと」

- ・プラチナナースの働く環境の検討
- ・自分と相手・仲間のWellbeingを高められるような働きかけ
- ・やりがい感のある職場環境作り
- ・健康寿命が延びるよう健康管理





# 医療安全情報レポート Vol.49

## 働くみんなの医療安全 早期発見！迅速な対処！輸液の血管外漏出

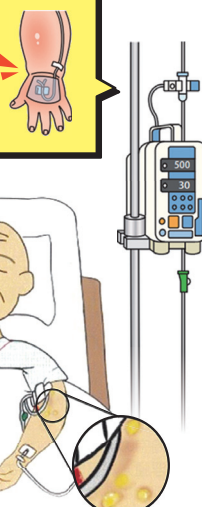
輸液を投与中、血管外漏出に気づくのが遅れ、治療を要した事例が報告されています。投与している薬剤（抗がん剤など）によっては**周辺組織への影響がある**ため注意が必要です。

### 早期発見！

#### 観察のポイント

- ☐ 炎症徴候の有無  
(発赤、腫脹、熱感、硬結、水疱、疼痛、血管痛…など)
- ☐ 薬液が漏れて刺入部付近が濡れていないか
- ☐ 輸液ポンプから外し、自然滴下するか
- ☐ 逆血の有無
- ☐ 刺入部だけではなく腕全体はどうか
- ☐ 投与側の刺入部との左右差はあるか ……など

血管外漏出しても輸液ポンプのアラートは鳴りません



薬液もれ・水疱

点滴の滴下を確認するときはひとつひとつ目視で確認しよう

ボトルみて

点滴筒みて

ルートみて

クレンメ  
三方活栓みて

テープ固定みて

刺入部までみよう！

### 迅速な対処！

血管外漏出を発見したら、  
自施設のマニュアルに沿って速やかに対応しましょう



## このナース服で地域に安心を届けます！

ユニフォームの紹介と皆さんのマイブーム、施設自慢をお聞きました。



#### 施設自慢

自治体病院として、市民に寄り添い安心の医療を提供します。

仙台  
市立病院



旅行、日本酒、バイク

温泉、岩盤浴

新野翔一郎  
経験 1 年目

善林 優芽  
経験 1 年目

健康に良い料理作り



映画鑑賞

仙台  
オープン病院

#### 施設自慢

地域医療支援病院として全国第1号で承認された病院です。地域で生活する患者さんに「自分らしく生きる」を支援し続けるよう努めています。

大野 愛理  
入職 8 か月

足立 翔  
入職 8 か月

## 離職したら

あなたの届出が県内の看護師  
確保の助けになります

## 「とどけるん」へ登録をしましょう！



届け出は、スマートフォンやパソコンから、専用サイト「とどけるん」へアクセスし、必要事項を入力してください。必要事項を記入の上、書面での届け出も可能です。お気軽にナースセンターへご連絡ください。

「とどけるん」はこちら



「とどけるん」記入時は、eナースセンターへの登録チェックをお勧めします！



1 希望する

いつでも県内の求人情報が見れ、ナースセンター相談員が、あなたの働きたいをサポートします

お問合せ

宮城県ナースセンター



022-272-8573

(月) ~ (金) 8:30 ~ 17:00

## 2025年度会員総括表

2026/1/14現在

| 支部名   | 保健師     |       | 助産師 |     | 看護師          |          | 准看護師     |        | 計            |          |
|-------|---------|-------|-----|-----|--------------|----------|----------|--------|--------------|----------|
|       | 会 員     | 新会員   | 会 員 | 新会員 | 会 員          | 新会員      | 会 員      | 新会員    | 会 員          | 新会員      |
| 仙 南   | 25 (1)  | 0 (0) | 25  | 0   | 507 (43)     | 15 (3)   | 17 (1)   | 2 (0)  | 574 (45)     | 17 (3)   |
| 岩 沼   | 12 (1)  | 0 (0) | 54  | 0   | 709 (82)     | 22 (1)   | 10 (0)   | 0 (0)  | 785 (83)     | 22 (1)   |
| 塩 釜   | 9 (0)   | 0 (0) | 25  | 1   | 371 (23)     | 13 (0)   | 11 (0)   | 0 (0)  | 416 (23)     | 14 (0)   |
| 大 崎   | 32 (0)  | 0 (0) | 34  | 0   | 937 (43)     | 36 (1)   | 43 (1)   | 2 (0)  | 1,046 (44)   | 38 (1)   |
| 栗 原   | 15 (0)  | 1 (0) | 4   | 0   | 309 (12)     | 5 (0)    | 8 (0)    | 0 (0)  | 336 (12)     | 6 (0)    |
| 登 米   | 10 (0)  | 0 (0) | 2   | 0   | 201 (12)     | 0 (0)    | 6 (0)    | 1 (0)  | 219 (12)     | 1 (0)    |
| 石 巻   | 14 (0)  | 0 (0) | 40  | 3   | 1,029 (90)   | 27 (2)   | 65 (6)   | 3 (1)  | 1,148 (96)   | 33 (3)   |
| 気 仙 沼 | 14 (0)  | 0 (0) | 11  | 0   | 181 (15)     | 20 (1)   | 5 (0)    | 0 (0)  | 211 (15)     | 20 (1)   |
| 仙台・黒川 | 25 (2)  | 0 (0) | 81  | 6   | 1,752 (129)  | 69 (10)  | 36 (2)   | 0 (0)  | 1,894 (133)  | 75 (10)  |
| 仙 台 北 | 46 (4)  | 2 (0) | 159 | 13  | 2,335 (208)  | 160 (13) | 14 (2)   | 0 (0)  | 2,554 (214)  | 175 (13) |
| 仙 台 南 | 22 (0)  | 0 (0) | 130 | 8   | 1,816 (120)  | 90 (6)   | 24 (0)   | 1 (0)  | 1,992 (120)  | 99 (6)   |
| 仙 台 東 | 10 (0)  | 0 (0) | 59  | 6   | 1,232 (89)   | 75 (4)   | 10 (2)   | 1 (1)  | 1,311 (91)   | 82 (5)   |
| 県 外   | 0 (0)   | 0 (0) | 4   | 0   | 12 (0)       | 0 (0)    | 0 (0)    | 0 (0)  | 16 (0)       | 0 (0)    |
| 合 計   | 234 (8) | 3 (0) | 628 | 37  | 11,391 (866) | 532 (41) | 249 (14) | 10 (2) | 12,502 (888) | 582 (43) |

( ) は男子再掲

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年度からアンケートの御礼として抽選でかんごちゃんグッズをプレゼントしておりますが「かわいいです」とのお言葉をいただきとても嬉しく思っております。今後も多くの会員の皆様にご愛読いただける「看護みやぎ」を作成できるよう尽力してまいります。暦の上では春立ちますが、変わらずの厳しい寒さが続いております。皆様お体に気をつけてお過ごしください。(広報委員一同)

## 総会開催予定

6月20日(土)

## 看護みやぎ 第172号

令和8年2月1日発行

公益社団法人 宮城県看護協会  
発行責任者 浦山 美輪

〒980-0871 仙台市青葉区八幡二丁目10番19号

TEL 022-273-3923 FAX 022-276-4724

ホームページアドレス

<https://miyagi-kango.or.jp/>



LINE  
公式アカウント



Instagram



研修案内掲載しています！